

款	農林水産費	項	農業費			
事業名	土浦ブランドアッププロジェクト推進事業					
施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	3 付加価値の高い持続可能な農業の振興					
施策の内容	6 農林水産業の振興によるまちなぎわいの創出					
H30決算額	12,555千円	財源内訳	国県支出金 6,175千円	地方債	その他	一般財源 6,380千円

【事業の概要】

本市は首都東京から約60km圏内に位置し、日本一の生産量を誇るれんこんを始め、米・葉菜・根菜・果実・花き・畜産など多種多様な農業地域となっているほか、霞ヶ浦の水産資源にも恵まれています。この豊富な農林畜水産物を活用した加工品の開発や、都市と農村の交流により地域の農林水産業を活性化させることで、交流人口の増加・まちの賑わい創出へとつながり、地域経済の好循環が期待されます。

平成30年度は「土浦ブランドアッププロジェクト基本構想」に基づき、交流人口の増加を図るべく、都市部在住のファミリー層をターゲットにモニターツアーを行いました。また、農林水産業及び地域経済の発展を促すため、本市の農林畜水産物を活用したレシピを31品開発し、市民・市内飲食店事業者・関係団体等向けの試食会を実施したほか、農林畜水産物加工品の販売や「第2期・第3期土浦ブランド」の認定を行いました。

◎モニターツアー

本市の魅力を伝え、近隣居住区から「お出かけ先」として認識されるコンテンツ作りを目的に実施しました。



レンコン収穫見学



ホワイトアイリス号
でのクルージング

◎農林畜水産物加工品

飲食店での提供のみならず、一般家庭への普及も想定したレシピを開発し、試食会や試験販売を行いました。



土浦の恵みマーケット

◎「土浦ブランド」の認定

第2期8品、第3期6品を認定しました(全32品)。



土浦ブランド認定式

(単位:千円)

区 分	事業費	概 要
報償費	500	協議会運営費
需用費	502	イベント材料費等
役務費	533	ブランド商標登録手数料
委託料	10,947	モデル事業委託料
使用料及び賃借料	73	イベント用備品借上料
合 計	12,555	

【事業の成果】

本市への集客・誘客の可能性が高い潜在的来訪者として、首都圏に住む9歳未満の子どもを持つ女性・ファミリー層をメインターゲットに、農業体験を盛り込んだモニターツアーを実施することで、本市や本市の農林畜水産物に対するイメージなど、詳細なアンケート結果を得ることができました。また、参加者が、ツアーで見聞きしたことを自らSNSなどで発信したことにより、本市の農林畜水産物や観光資源について、幅広い世代へPRされました。

その他、開発したレシピの試食会(市民・事業者・関係団体向け)を開催し、本市の特産物や「土浦ブランド」の認知度アップにつながりました。

款	農林水産業費	項	農業費			
事業名	一般地帯土地改良事業（農道・かんがい排水事業）					
施 策 の 大 綱	2－3 活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	3 付加価値の高い持続可能な農業の振興					
施 策 の 内 容	1 農業生産基盤の整備と保全					
H30決算額	34,076千円	財源内訳	国県支出金 9,007千円	地方債 19,700千円	その他	一般財源 5,369千円

【事業の概要】

農用地区域の農道及び水路の環境整備により，機械化農業に貢献し，排水路としての機能を回復すると同時に，用水源としても活用することにより営農効率を高め，農業経営の安定を図ります。

◎農道整備

- ・農用地区域の道路延長 約357km
平成30年度までの整備延長 197.9km（約55％）

◎かんがい排水整備

- ・農用地区域の排水路延長 約93km
平成30年度までの整備延長 20.0km（約22％）

（単位：千円）

区 分	事 業 費	概 要
委託料	4,864	測量，実施設計委託
工事請負費	29,212	木田余地内外
合 計	34,076	

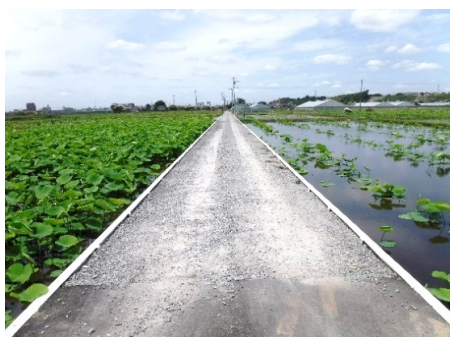
- ・農道改良工 1地区 L=217m
（木田余地）

- ・農道舗装工 3地区 L=214m
（田村地区，常名地区，大志戸地区）

- ・排水路整備工 3地区 L=330m
（常名3期地区，西真鍋地区，本郷地区）



かんがい排水路整備箇所



農道整備箇所



農道舗装箇所

【事業の成果】

大型機械の進入が可能となることで営農効率を高め，農業経営の安定化に寄与し，遊休農地の一部解消が図られました。

款	商工費	項	商工費			
事業名	花火大会プロモーション事業					
施 策 の 大 綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	5 地域の魅力を生かした観光の振興					
施 策 の 内 容	4 観光行事の充実					
H30決算額	10,886千円	財源内訳	国県支出金 5,443千円	地方債	その他	一般財源 5,443千円

【事業の概要】

本市最大の観光資源である土浦の花火をモチーフとしたプロジェクションマッピングを映写することにより、土浦の花火の知名度向上を図り、また、首都圏向けに土浦の花火をPRすることで観光客の誘客を促進し、本市の賑わいを創出しました。

【事業決算額】

(単位：千円)

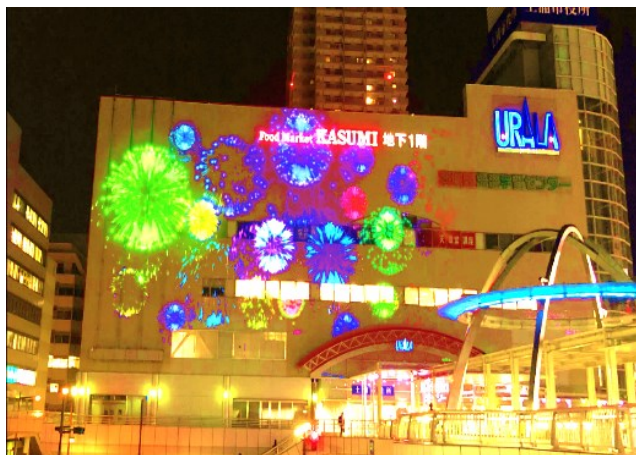
区分	事業費	概 要
委託料	10,886	花火を活かしたプロモーション事業委託料 土浦の花火PR動画作成及び広告掲載業務委託料

◎花火プロジェクションマッピング事業

事業費：9,450千円
(夏季)
開催日：8月4日～5日（キララまつり）
場 所：アルカス土浦
(春季)
開催日：3月22日～23日（桜まつり）
場 所：土浦市役所本庁舎東側壁面
(ウララビル)

◎花火大会映像上映会事業

事業費：1,436千円
期 間：9月24日～30日
場 所：JR総武線・中央線各駅停車内
品川駅自由通路



土浦市役所本庁舎東側壁面（ウララビル）



品川駅自由通路 デジタル広告画面44面

【事業の成果】

日本三大花火大会の一つである土浦全国花火競技大会を、一過性のイベントとして扱うのではなく、花火を活かしたプロジェクションマッピングの上映や、都内での花火大会映像の上映により、土浦全国花火競技大会のブランド化を図り、本市のイメージアップに貢献することができました。

款	商工費	項	商工費			
事業名	土浦市観光基本計画推進事業					
施 策 の 大 綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	5 地域の魅力を生かした観光の振興					
施 策 の 内 容	1 観光基本計画に基づく施策の推進					
H30決算額	3,861千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 3,861千円

【事業の概要】

第1次土浦市観光基本計画に位置づけられた事業の進捗状況の確認や効果の検証を行い、本市が持つ自然や歴史といった豊かな観光資源を生かした活力とにぎわいのあるまちづくりを推進するため、本市の新たな観光施策の指針となる第2次土浦市観光基本計画を策定しました。

〔事業決算額〕

(単位：千円)

区 分	金 額	概 要
報償費	315	観光戦略推進会議委員謝礼
需用費	7	委員会飲物代
委託料	3,539	観光基本計画策定委託料
合 計	3,861	

◎平成30年度の実施状況

平成30年6月22日（金）

第1回観光戦略推進会議連絡調整会議

平成30年7月23日（月）

第1回観光戦略推進会議

平成30年8月24日（金）

観光戦略推進会議によるワークショップ

平成30年11月20日（火）

第2回観光戦略推進会議連絡調整会議

平成30年12月7日（金）

第2回観光戦略推進会議

平成30年12月26日（水）

第3回観光戦略推進会議連絡調整会議

平成31年1月17日（木）

第3回観光戦略推進会議

平成31年2月8日（金）～2月28日（木）

パブリックコメントの実施

平成31年3月20日（水）

第4回観光戦略推進会議連絡調整会議

平成31年3月26日（火）

第4回観光戦略推進会議



第2次土浦市観光基本計画

【事業の成果】

本市を取り巻く環境の変化、また、人々の観光に対する価値観の多様化に対応するため、本市の観光資源を最大限に活かした魅力ある観光地づくりを市民・事業者・行政が多彩に連携し、実現を目指す、第2次土浦市観光基本計画を策定しました。

今後は、計画のコンセプトである「魅力を活力に 多彩な連携による観光のまちづくり」を推進し、更なる活力とにぎわいのあるまちづくりを推進します。

款	商工費	項	商工費								
事業名	第87回土浦全国花火競技大会開催事業										
施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり										
施策名	5 地域の魅力を生かした観光の振興										
施策の内容	4 観光行事の充実										
H30決算額	63,464千円	財源内訳	<table border="1"> <tr> <td>国県支出金</td> <td>地方債</td> <td>その他</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>63,464千円</td> </tr> </table>	国県支出金	地方債	その他	一般財源				63,464千円
国県支出金	地方債	その他	一般財源								
			63,464千円								

【事業の概要】

◎大会概要

第87回土浦全国花火競技大会

期 日：平成30年10月6日（土）

場 所：桜川畔学園大橋下流付近

競技内容：スターマインの部 6台、10号玉の部 20発、創造花火の部 7組の3部門、合計33作品の競技花火を打ち上げました。
（当初予定：スターマイン 22台、10号玉 45発、創造花火 22組 合計89作品 20都道府県56業者）

経 緯：競技花火前にレクチャー花火を打ち上げた後、花火師を紹介する「花火師登場」、審査標準玉の打ち上げを行い、競技を開始しました。天気予報では、競技大会終了後の夜遅くから風が強くなる予報であったため大会を開催したところですが、予報より早く風が強まる恐れがあり、大会を中止にしました。

〔事業決算額〕

（単位：千円）

区分	事業費	概 要
補助金	63,464	花火大会事業補助金



第87回土浦全国花火競技大会ポスター

土浦の見どころマップ・交通規制図

【事業の成果】

今回の花火事故の教訓を生かし、今後の花火大会を更に安全に運営するための開催基準を明確化するとともに、出品規定の見直しを行うなど、新たな安全対策を構築しました。

款 土木費		項 道路橋梁費				
事業名		道路新設改良事業				
施 策 の 大 綱		2－6 快適でゆとりのあるまちづくり				
施 策 名		2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備				
施 策 の 内 容		3 生活道路の整備及び管理				
H30決算額	450,499千円	財源内訳	国県支出金 25,552千円	地方債 352,100千円	その他	一般財源 72,847千円
【事業の概要】						
日常生活の利便性向上及び地域環境改善のため、次の工事を実施しました。						
・幹線道路、その他の市道の拡幅改良及び舗装工事						
・歩行者及び自転車の安全確保のための交通安全施設工事						
◎路線整備						
① 市道Ⅰ級14号線		L = 200 m	W = 9.0 m			
② 市道永国130号線		L = 59 m	W = 4.0 m			
③ 市道北荒川沖8号線		L = 140 m	W = 4.0 m			
④ 市道神立東一丁目16号線		L = 182 m	W = 4.0 m			
外 17件		L = 1,535 m	W = 4.0～7.0 m			
◎平成29年度からの繰越分						
財源内訳		国県支出金	7,500千円	地方債	67,700千円	一般財源 7,593千円
(単位：千円)						
区 分		事 業 費		概 要		
測量、設計委託費		23,920		6件 延長 2,050 m		
舗装、改良、排水工事費		58,610		8件 延長 899 m		
用地取得費		153		1路線 面積 45 m ²		
物件移転補償費		110		工作物移設費		
合 計		82,793				
◎平成30年度分						
財源内訳		国県支出金	18,052千円	地方債	284,400千円	一般財源 65,254千円
(単位：千円)						
区 分		事 業 費		概 要		
測量、設計委託費		68,061		29件 延長 4,882 m		
舗装、改良、排水工事費		234,078		13件 延長 1,217 m		
交通安全施設工事費		4,115		4件 区画線、路面標示等		
用地取得費		21,288		27路線 面積 2,691 m ²		
物件移転補償費		31,367		立木、工作物、電柱移設費等		
役務費		7,590		鑑定料、登記料		
事務費等		1,207				
合 計		367,706				
◎平成31年度への繰越分						
財源内訳		国県支出金	0千円	地方債	205,600千円	一般財源 24,290千円
(単位：千円)						
区 分		事 業 費		概 要		
測量、設計委託費		10,206		3件 延長 710 m		
舗装、改良、排水工事費		204,846		17件 延長 2,488 m		
用地取得費		2,193		4路線 面積 391 m ²		
物件移転補償費		12,645		立木、工作物移設費等		
合 計		229,890				



① 市道Ⅰ級14号線



② 市道永国130号線



③ 市道北荒川沖8号線



④ 市道神立東一丁目16号線

【事業の成果】

幹線道路（Ⅰ級幹線，Ⅱ級幹線）の拡幅改良工事，歩道整備や生活道路・狭隘な市道の拡幅改良工事，舗装工事及び交通安全施設工事を計画的に進めることにより，日常生活の利便性向上と地域環境の改善，さらには歩行者及び自転車通行の安全確保に寄与しました。

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	橋梁耐震対策事業／橋梁長寿命化修繕事業					
施 策 の 大 綱	2－1 市民が主役の安心・安全なまちづくり					
施 策 名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり					
施 策 の 内 容	6 橋梁震災対策の推進					
H30決算額	160,364千円	財源内訳	国県支出金 73,825千円	地方債 54,100千円	その他	一般財源 32,439千円
【事業の概要】						
◎橋梁耐震対策事業 橋梁の耐震性を向上させ、地震災害時における避難路及び緊急輸送路の確保を図るため、橋梁の耐震補強工事を1橋、設計委託を1橋実施しました。						
◎橋梁長寿命化修繕事業 老朽化が進んだ橋梁を計画的に修繕し、利用者の安心・安全を図るため、長寿命化修繕工事を 7橋実施しました。						
[平成29年度からの繰越分]						
財源内訳 国県支出金 22,852千円 地方債 16,700千円 一般財源 1,997千円 (単位：千円)						
区 分			事業費	概 要		
耐震補強工事実施設計委託			2,041	東真鍋1号橋（木田余立体橋）		
耐震補強工事			13,403	国道六号6号橋		
長寿命化修繕工事			26,105	国道六号4・5・6号橋		
合 計			41,549			
[平成30年度分]						
財源内訳 国県支出金 50,973千円 地方債 37,400千円 一般財源 30,442千円 (単位：千円)						
区 分			事業費	概 要		
耐震補強工事実施設計委託			8,057	東真鍋1号橋（木田余立体橋）		
橋梁長寿命化修繕詳細設計委託			26,136	常磐線3号橋（二番橋）		
長寿命化修繕工事			73,622	常磐線2号橋（三番橋）外2橋		
			11,000	土浦高架道		
合 計			118,815			
[令和元年度への繰越分]						
財源内訳 国県支出金 48,057千円 地方債 35,200千円 一般財源 12,514千円 (単位：千円)						
区 分			事業費	概 要		
耐震補強及び長寿命化修繕詳細設計委託			7,031	国道六号7号橋		
耐震補強工事			63,943	東真鍋1号橋（木田余立体橋）		
橋梁長寿命化修繕詳細設計委託			3,300	常磐線3号橋（二番橋）		
歩道橋長寿命化修繕計画策定			3,607	神立小学校前歩道橋外8橋		
長寿命化修繕工事			17,890	土浦高架道		
合 計			95,771			
 						
桜川1号橋（銭亀橋） 国道六号6号橋						
【事業の成果】						
計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより、橋梁の長寿命化を図るとともに、予算の平準化と維持管理費用の削減を行い、道路交通の安全性と信頼を、将来にわたり確保することができます。						

款	土木費	項	河川費			
事業名	都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業					
施 策 の 大 綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり					
施 策 名	5 雨水等による浸水被害に強いまちづくり					
施 策 の 内 容	2 都市下水路の整備					
H30決算額	49,961千円	財源内訳	国県支出金 36,665千円	地方債 9,800千円	その他	一般財源 3,496千円

【事業の概要】

豪雨による道路冠水等を解消するため、雨水を速やかに排除する下水道施設の整備工事等を実施しました。なお、都市下水路整備事業については、国から交付される「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用しています。

◎都市下水路整備事業

- ・西根竹の入都市下水路施設整備工事 U2, 200mm×1, 900mm L=50.0m
特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用

◎小規模排水路整備事業

- ・田中三丁目地内小規模排水路整備工事 U400mm×600mm L=108.7m

[平成29年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
小規模排水路整備費	3,272	工事1件
合 計	3,272	

[平成30年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
都市下水路整備費	43,416	工事1件
小規模排水路整備費	3,273	工事2件
合 計	46,689	

[平成31年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
都市下水路整備費	4,698	委託1件
小規模排水路整備費	7,139	委託1件, 工事1件
合 計	11,837	



西根竹の入都市下水路 施工後



田中三丁目地内小規模排水路 施工後

【事業の成果】

都市下水路施設及び小規模排水路施設の整備を行い、大雨による浸水被害の減少を図りました。今後も計画的に雨水を速やかに排除する下水道施設の整備等を行うことにより、市民の生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	神立駅西口地区土地区画整理事業					
施 策 の 大 綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	5 生活拠点となるコンパクトな市街地の整備					
施 策 の 内 容	1 神立駅周辺地区の整備					
H30決算額	1,725,328千円	財源内訳	国県支出金 700,755千円	地方債 662,000千円	その他 251,794千円	一般財源 110,779千円

【事業の概要】

神立駅西口地区において、西口駅前広場及びアクセス道路の神立停車場線等の都市施設整備を土地区画整理事業により一体的に推進し、駅前にふさわしい市街地の形成を図ります。

- ・地区面積 2.2ha（土浦市 1.3ha，かすみがうら市 0.9ha）
- ・施行期間 平成24年度～令和3年度
- ・都市施設概要 都市計画道路神立停車場線 W=22m，L=23m
（西口駅前広場 約4,800㎡を含む。）
都市計画道路神立駅前西通り線 W=15m，L=210m
- ・総事業費 55.5億円（関連事業費を除く。）

◎関連事業

- ・駅舎橋上化整備事業 A=950㎡
- ・自由通路整備事業 W=6m，L=40m
- ・東口歩行者専用道路整備事業 L=490m A=6,660㎡

[平成29年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	876,157	駅舎・自由通路整備工事委託料
合 計	876,157	

[平成30年度分]

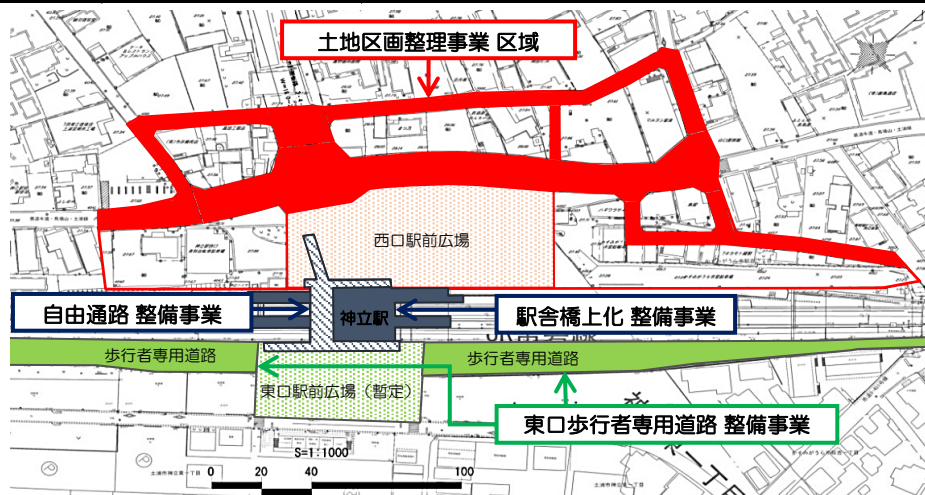
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
負担金	218,899	建物等移転補償費，公共施設整備工事等
	2,401	現場事務所諸経費
	26,416	派遣職員人件費
	13,442	剰余金
委託料	585,745	駅舎・自由通路整備工事委託料
	2,268	東口歩行者専用道路修正設計業務委託
合 計	849,171	

[令和元年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	7,732	東口歩行者専用道路修正設計業務委託 7,732
合 計	7,732	



事業位置図



神立駅東西自由通路



神立駅西口



神立駅東口

◎今後のスケジュール

- ・令和元年度
建物等移転（継続），公共施設整備工事，ライフライン整備工事
- ・令和2年度～
公共施設整備工事，ライフライン整備工事

【事業の成果】

平成30年度は，公共施設整備工事（第1工区）が完了しました。また，平成31年3月には神立駅橋上駅舎，東西自由通路の工事が完了し，全面供用開始となったことから，歩行者等の安全性の向上とともに，移動の円滑化が図られました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	亀城モール整備事業					
施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H30決算額	56,666千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				42,300千円		14,366千円

【事業の概要】

中心市街地の中心地に位置する川口一丁目交差点から中央一丁目交差点北側において、遊歩道整備を行い、歩行者や自転車の安全性を高めるとともに、快適な都市空間を形成します。

また、当該計画箇所は、土浦駅前やモール505から亀城公園までに至る中間に位置することから、市民及び来訪者の憩いの空間づくりを行います。

- ・事業期間 平成26年度～令和元年度
- ・整備延長 L=178.0m
- 幅員 W=0.4～15.3m（モール部分）

[平成29年度からの繰越分]

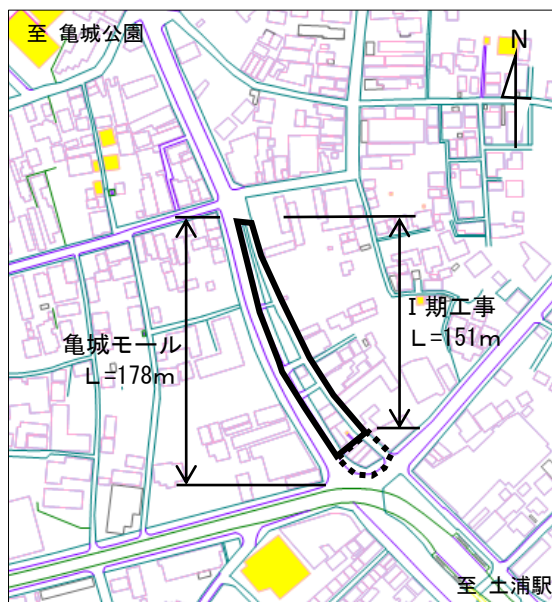
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	54,460	歩道整備工事（Ⅰ期区間）等
合 計	54,460	

[平成30年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
役務費	2,052	鑑定料
補償補填及び賠償金	154	電柱移設補償金
合 計	2,206	



位置図



整備状況

【事業の成果】

平成30年度は、Ⅰ期区間の工事が完了し、一部が供用開始され、全線完成に向けた進捗が図られました。

また、モール整備により、歩行者等の安全性の向上とともに、憩いの空間づくりに寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	常名虫掛線街路事業					
施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H30決算額	247,586千円	財源内訳	国県支出金 48,947千円	地方債 178,700千円	その他	一般財源 19,939千円

【事業の概要】

市道Ⅰ級44号線（旧国道125号）と県道小野土浦線とを結ぶ内環状道路として、整備を進めます。

- ・事業期間 平成22年度～令和元年度
- ・整備延長 L=1,435m
- 幅員 W=16.0m

[平成29年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	143,908	道路改良工事
合 計	143,908	

[平成30年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	6,774	用地測量、擁壁修正設計、地質調査等
工事請負費	71,700	道路改良工事
公有財産購入費	389	用地取得費
補償補填及び賠償金	24,815	補償金
合 計	103,678	

[令和元年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	19,092	地質調査、道路予備設計、流末排水路詳細設計
工事請負費	210,260	道路改良工事
公有財産購入費	611	用地取得費
補償補填及び賠償金	3,185	補償金
合 計	233,148	



位 置 図

【事業の成果】

並木地区から虫掛地区における円滑な交通動線の確保を図るとともに、常名運動公園へのアクセス道路としての役割を果たします。

また、新たな南北軸として新治地区から市街地を結ぶ交通ネットワークの構築により、周辺地域の活性化や暮らしやすさの向上が図られます。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	神立停車場線街路事業					
施 策 の 大 綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備					
施 策 の 内 容	2 都市計画道路等の整備					
H30決算額	146,777千円	財源内訳	国県支出金 72,366千円	地方債 66,700千円	その他	一般財源 7,711千円

【事業の概要】

神立駅西口地区土地区画整理事業に併せて、神立駅から国道6号までの区間を本市とかすみ
がうら市が整備し、神立駅周辺地区の道路ネットワークを構築するものです。

- ・事業期間 平成23年度～令和2年度
- ・整備延長 L=283m
幅員 W=22.0m

[平成29年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
役務費	1,744	補償物件再算定
公有財産購入費	55,799	用地取得費
補償補填及び賠償金	28,468	補償金
合 計	86,011	

[平成30年度分]

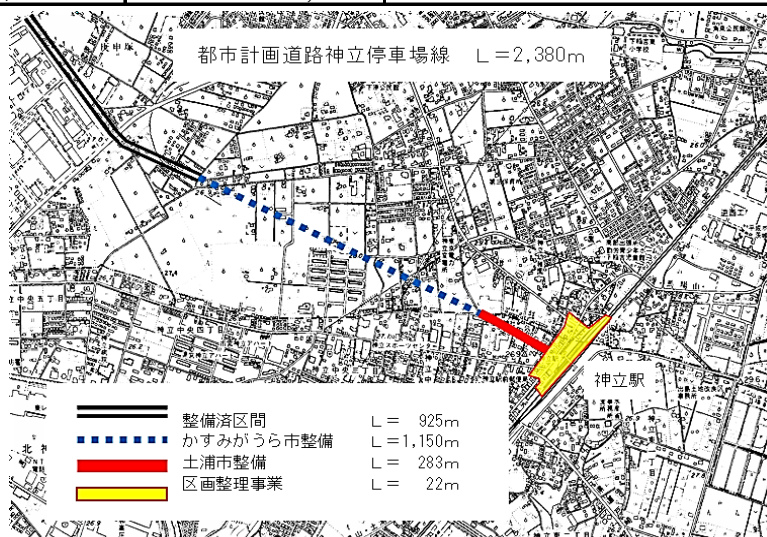
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
需用費等	172	収入印紙購入費等
工事請負費	59,159	流末排水路整備工事、道路改良工事
補償補填及び賠償金	1,435	補償金
合 計	60,766	

[令和元年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	73,142	道路改良工事
補償補填及び賠償金	11,565	補償金
合 計	84,707	



位置図

【事業の成果】

交通アクセスの向上により、市北部地区の交通混雑が緩和されるとともに、調和のとれた魅力的な都市環境の創出に寄与します。

また、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑な交通動線の確保と快適な環境の形成が図られます。

款	土木費	項	都市計画費								
事業名	田村沖宿線延伸道路整備事業										
施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり										
施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備										
施策の内容	2 都市計画道路等の整備										
H30決算額	270,265千円	財源内訳	<table> <tr> <td>国県支出金</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr> <tr> <td>106,983千円</td><td>144,700千円</td><td></td><td>18,582千円</td></tr> </table>	国県支出金	地方債	その他	一般財源	106,983千円	144,700千円		18,582千円
国県支出金	地方債	その他	一般財源								
106,983千円	144,700千円		18,582千円								

【事業の概要】

国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備し、市道Ⅰ級13号線から県道戸崎上稲吉線までの区間1,430mが供用開始となり、Ⅰ期事業全長2,000m区間のうち約1,900mについて整備が完了しました。

- ・事業期間 平成24年度～令和元年度（Ⅰ期事業）
- ・整備延長 L=2,000m（Ⅰ期事業）
幅員 W=14.0m

[平成29年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費等	177,366	道路改良工事
公有財産購入費	2,586	用地取得費
補償補填及び賠償金	3,803	補償金
合 計	183,755	

[平成30年度分]

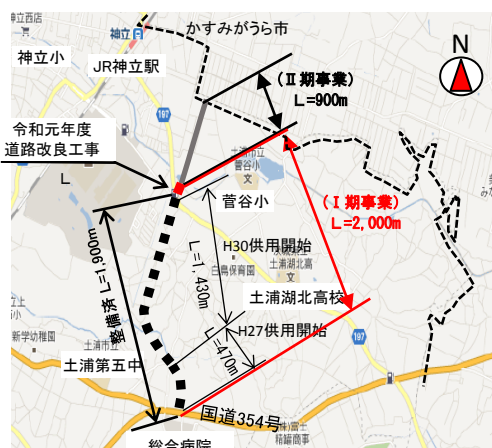
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
需用費等	267	技術指針図書等
委託料	756	草刈委託
工事請負費	82,443	道路改良工事
補償補填及び賠償金	3,044	補償金
合 計	86,510	

[令和元年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	1,296	道路台帳修正，交通量調査
工事請負費	5,500	道路改良工事
合 計	6,796	



位置図



整備状況写真

【事業の成果】

神立駅東地区及び隣接するかすみがうら市と、おおつ野団地との円滑な交通体系が構築されるとともに、総合病院へのアクセス向上に寄与します。また、近隣の学校へ通学する児童・生徒の安全な歩行者・自転車空間が確保されます。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	荒川沖木田余線（Ⅰ期）整備事業					
施 策 の 大 綱	2－6 快適でゆとりのあるまちづくり					
施 策 名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備					
施 策 の 内 容	2 都市計画道路等の整備					
H30決算額	172,195千円	財源内訳	国県支出金 88,062千円	地方債 74,800千円	その他	一般財源 9,333千円

【事業の概要】

都市計画道路真鍋神林線から国道354号までの3車線区間（Ⅰ期：L＝1,300m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞の緩和を図るとともに、市の広域的な地域間連携を図ります。

- ・事業期間 平成26年度～令和2年度
- ・整備延長 L＝1,300m 幅員 W＝25.0m（4車線，歩道両側3.5m×2）

[平成29年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	52,801	道路改良工事
公有財産購入費	20,315	用地取得費
補償補填及び賠償金	35,993	補償金
合 計	109,109	

[平成30年度分]

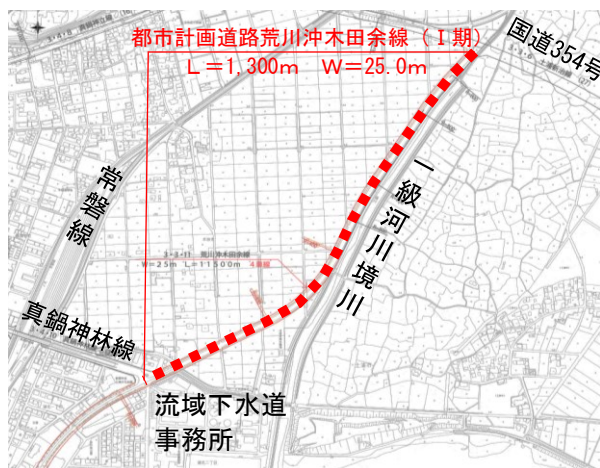
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
需用費	44	消耗品
役務費	126	不動産鑑定
委託料	432	用地測量
工事請負費	37,213	道路改良工事
公有財産購入費	17,513	用地取得費
補償補填及び賠償金	7,758	補償金
合 計	63,086	

[令和元年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
役務費	374	不動産鑑定
委託料	2,484	用地測量
工事請負費	72,516	道路改良工事
公有財産購入費	12,487	用地取得費
補償補填及び賠償金	13,242	補償金
合 計	101,103	



【事業の成果】

当該区間の4車線化により道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が期待されるとともに、市街地における交通渋滞の緩和及び安全性の向上を図ります。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	中心市街地活性化基本計画管理運営事業					
施 策 の 大 綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	1 広域的な拠点としての中心市街地の形成					
施 策 の 内 容	4 中心市街地活性化施策の推進					
H30決算額	6,112千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 6,112千円

【事業の概要】

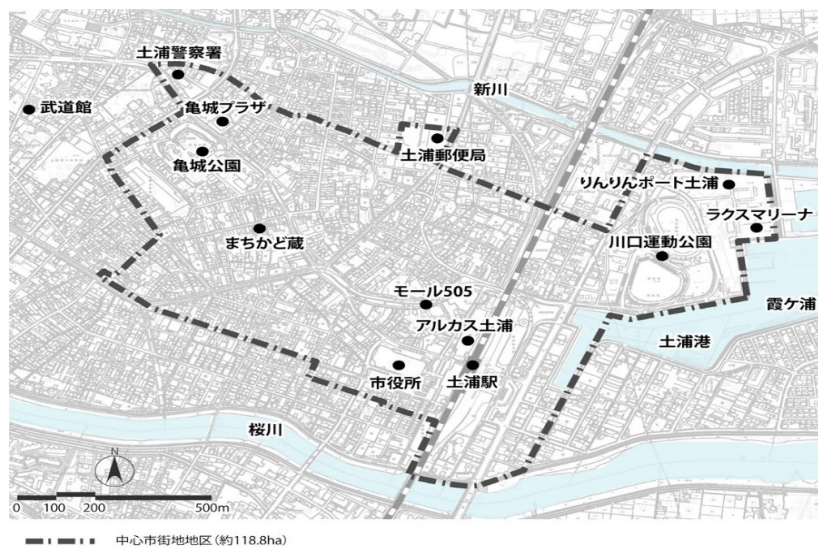
平成25年度に策定した「土浦市中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成26～30年度）」に基づき、各種活性化施策を推進していく中で、事業効果を最大限発揮するため、計画の適正な運営管理を行うとともに、継続的な活性化への取組を進めるための二期計画を策定しました。

- ・事業内容 これまでの取組に対するフォローアップの実施
第二期土浦市中心市街地活性化基本計画の策定

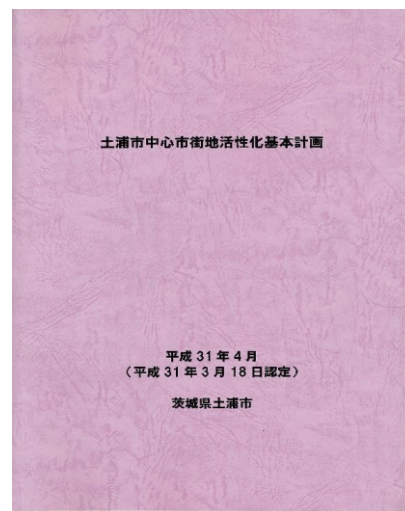
[平成30年度分]

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
委託料	5,767	中心市街地活性化基本計画策定委託料
報償費	262	計画策定委員報酬等
事務費	83	旅費、需用費等
合 計	6,112	



中心市街地エリア図



計画書

【事業の成果】

第一期計画における成果と課題を踏まえ、引き続き中心市街地の活性化施策に取り組んでいくため、平成31年度（令和元年度）を初年度とする「第二期土浦市中心市街地活性化基本計画（計画期間：5年間）」を策定し、内閣総理大臣の認定を受けました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	まちなか定住促進支援事業					
施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	1 広域的な拠点としての中心市街地の形成					
施策の内容	2 まちなか居住の促進					
H30決算額	9,195千円	財源内訳	国県支出金 4,597千円	地方債	その他	一般財源 4,598千円

【事業の概要】

土浦市中心市街地活性化基本計画に基づき、質の高いコンパクトなまちづくりを推進するため、中心市街地の定住促進を図る新たな支援制度により、居住人口増加による活力とにぎわいのある中心市街地の再生を図ります。

- (1) 実施期間：平成26年度～令和5年度
(平成26年10月1日開始)
- (2) 実施エリア：計画において定めた中心市街地内
- (3) 事業内容：

① まちなか賃貸住宅家賃補助

市外から中心市街地に住み替える世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対して、家賃の1/2（上限2万円）を補助しました。

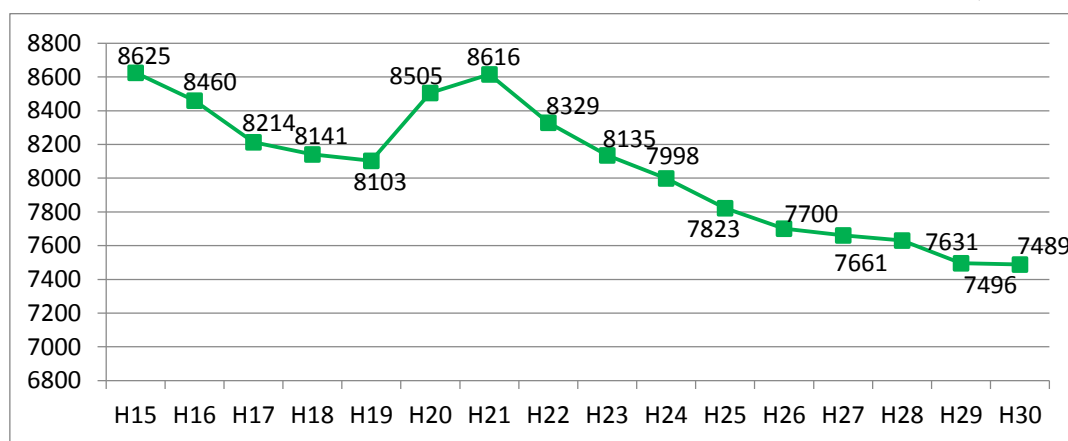
② まちなか住宅建替え・購入補助

中心市街地に住宅建替え又は住宅を購入する世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対して、借入金の3%（上限50万円）を補助しました。

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
①賃貸住宅家賃補助	5,975	交付決定：32件
②住宅建替え・購入補助	3,220	交付決定：7件
合 計	9,195	

(単位：人)



中心市街地人口の推移

【事業の成果】

平成30年度は、賃貸住宅家賃補助について、新規で9件の申請があり、継続と合わせて32件の申請を受け付けました。建替え・購入補助については、前年度は5件であり、平成30年度は7件の申請がありました。

事業開始から5年目となり、中心市街地への居住促進・定住が図られ、人口減少の抑制に一定の効果がありました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	土浦港周辺広域交流拠点整備事業					
施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	5 地域の魅力を生かした観光の振興					
施策の内容	8 サイクリスト向けの拠点整備					
H30決算額	209,511千円	財源内訳	国県支出金 107,072千円	地方債 77,300千円	その他	一般財源 25,139千円

【事業の概要】

「土浦市中心市街地活性化基本計画」及び「土浦市かわまちづくり計画」の中で拠点地区として位置付けている川口二丁目地区において、公共と民間の連携により、水辺空間として市民に広く開放するとともに、観光客の訪れる魅力ある空間となる拠点を整備し、水辺のにぎわいを創出します。

【事業費】

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
工事請負費	199,898	建築主体工事，電気設備工事，機械設備工事，外構工事
委託料	5,724	工事監理業務
備品購入費	2,537	誘導サイン，案内サイン等
消耗品費	655	施設備品等
その他	697	手数料，広告料，報償費
合 計	209,511	



休憩施設外観



休憩スペース

利用者数（休憩施設入館者数）

平成31年3月30日（土）1,500人（オープニングイベント開催日）

平成31年3月31日（日）300人

平成31年4月 3,054人

令和元年5月 2,693人

【事業の成果】

りんりんポート土浦の整備を完了し、平成31年3月30日より供用を開始しました。
多くのサイクリスト及び市民等が利用したことにより、にぎわいの創出が図られました。

款	消防費	項	消防費			
事業名	常備消防車両更新事業					
施 策 の 大 綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり					
施 策 名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり					
施 策 の 内 容	2 救急・救助業務の充実					
H30決算額	39,356千円	財源内訳	国県支出金 13,886千円	地方債 22,600千円	その他	一般財源 2,870千円

【事業の概要】

高規格救急自動車1台を購入し、老朽化した消防車両の更新を行いました。

購入車両：高規格救急自動車 1台
配 置：土浦消防署 南分署
名 称：土浦南救急1号車

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
旅費	48	製造工場中間検査 48
役務費	1,529	車両リサイクル預託金 12 無線機載せ換え手数料 1,494 車両保険料 23
車両購入費	37,746	高規格救急自動車1台 37,746
公課費	33	自動車重量税1台分 33
合 計	39,356	常備消防車両更新事業



高規格救急自動車

【事業の成果】

消防力の基幹である消防車両を更新整備し、消防体制の充実強化・救急業務の高度化を図ることで、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりの推進に寄与しました。